

北広島町地域公共交通再編計画 ～千代田地域～

1.全体ネットワーク

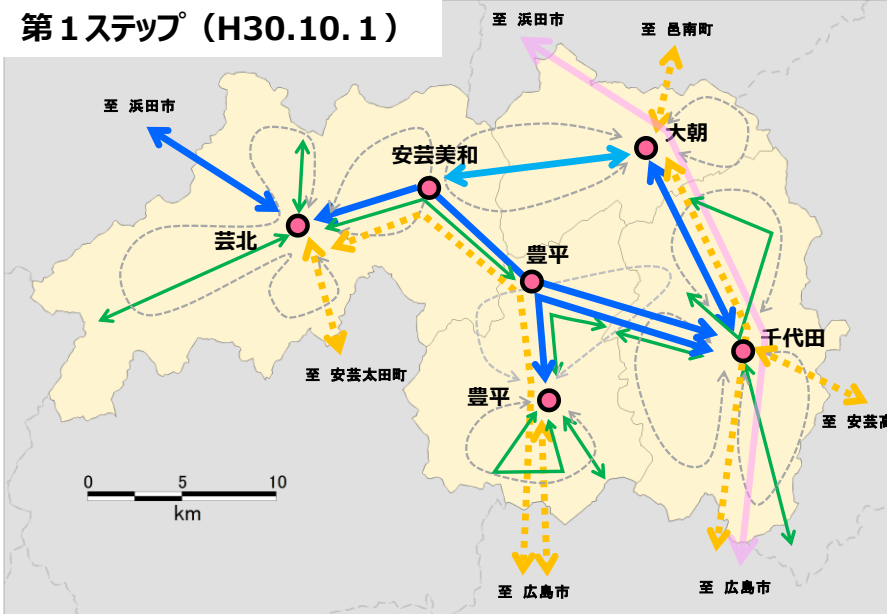
<再編方針>

- ①広域幹線
 - ・ 関係市町と協議・調整のうえ、路線の最適化を検討するとともに、必要に応じてダイヤ、便数等の見直しの検討を行う。
- ②町内幹線
 - ・ 芸北、安芸美和、大朝、千代田、豊平の拠点間を町内幹線で結び、児童・生徒の通学手段を確保した上で、通院・買物の移動利便性を確保したサービスを提供する。
 - ・ 現状の車両数で運行可能なダイヤとする。
- ③支線
 - ・ 旧町内完結路線は主に児童・生徒の通学便として位置づけ、土日祝や学校の長期休暇期間は運行しないことを基本とする。
 - ・ デマンド型乗合バス（ホープタクシー）は主に高齢者等の通院・買物等の移動手段として位置づけ、自宅から旧町内の病院や買物施設、乗り継ぎ拠点までを運行する。
 - ・ ホープタクシーの乗り継ぎを可能にし、旧町間の移動手段としての機能も付加する。
- ④乗継拠点
 - ・ 芸北、安芸美和、豊平、大朝地域に、町内幹線と支線の乗継拠点を整備する。
 - ・ 乗継拠点は、待合機能のほか、バスロケーションシステムを活用した運行情報を掲示する。
 - ・ ホープタクシー同士の乗継拠点についても待合環境を整備する。
- ⑤その他
 - ・ 運行情報が見える化できる簡易のバスロケーションシステムを開発・導入する。
 - ・ 乗車人数に見合った車両となるよう、小型化を図りながら車両更新を行う。

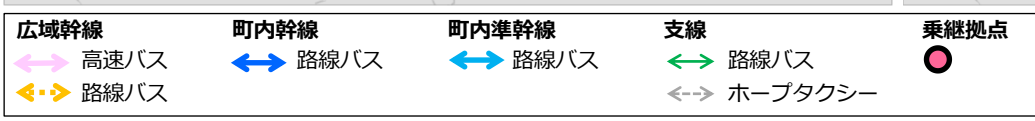
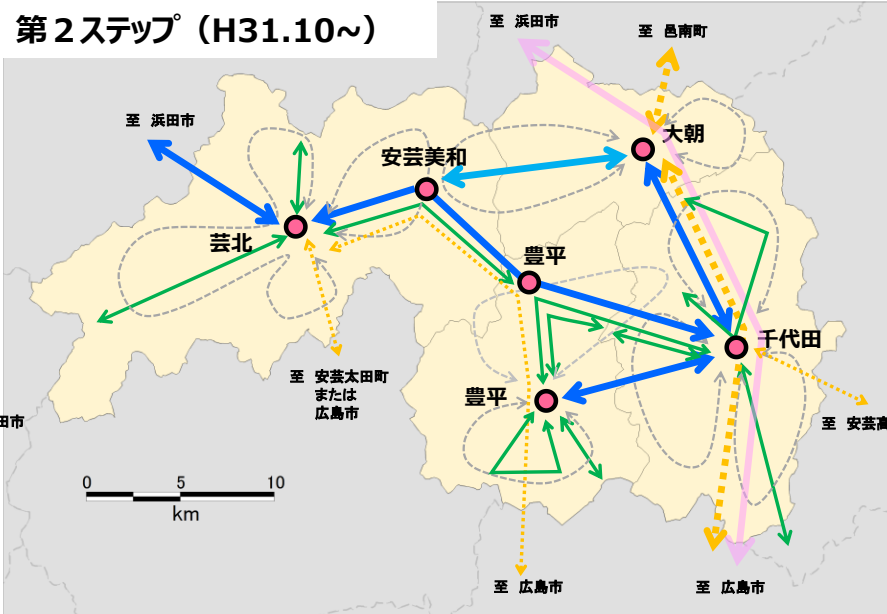
<再編イメージ図>

- ・ 2段階で再編を行う
- ・ 第1ステップ（H30.10.1）での再編後、利用状況や児童生徒の通学実態、関係者との調整を踏まえて、第2ステップ（H31.10～）で更に見直し・再編を行う。

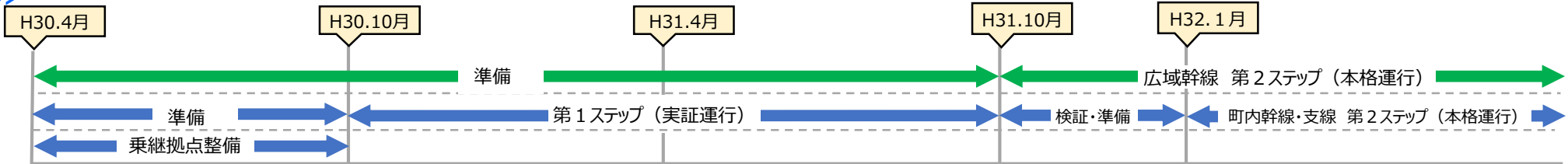
第1ステップ（H30.10.1）



第2ステップ（H31.10～）



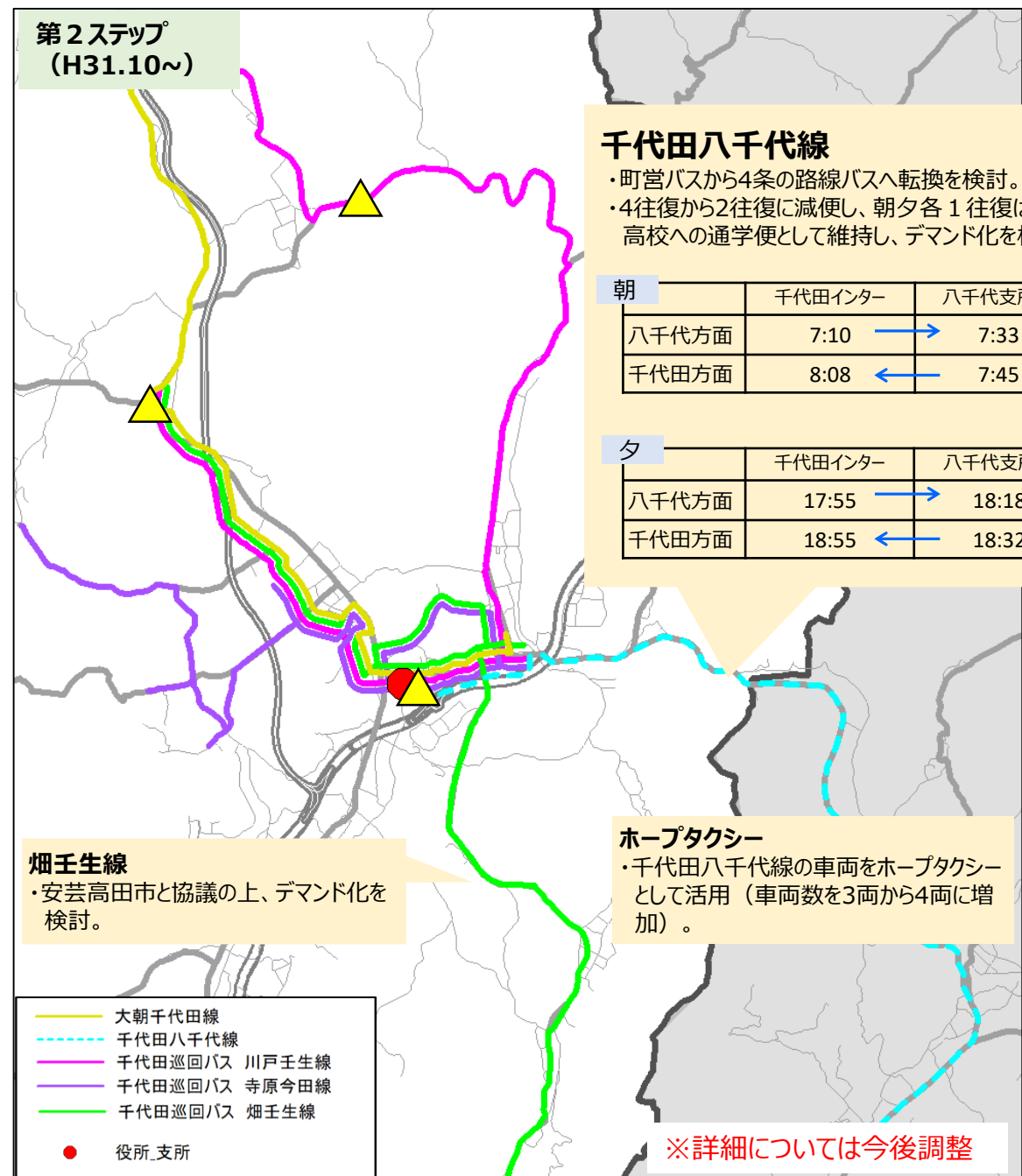
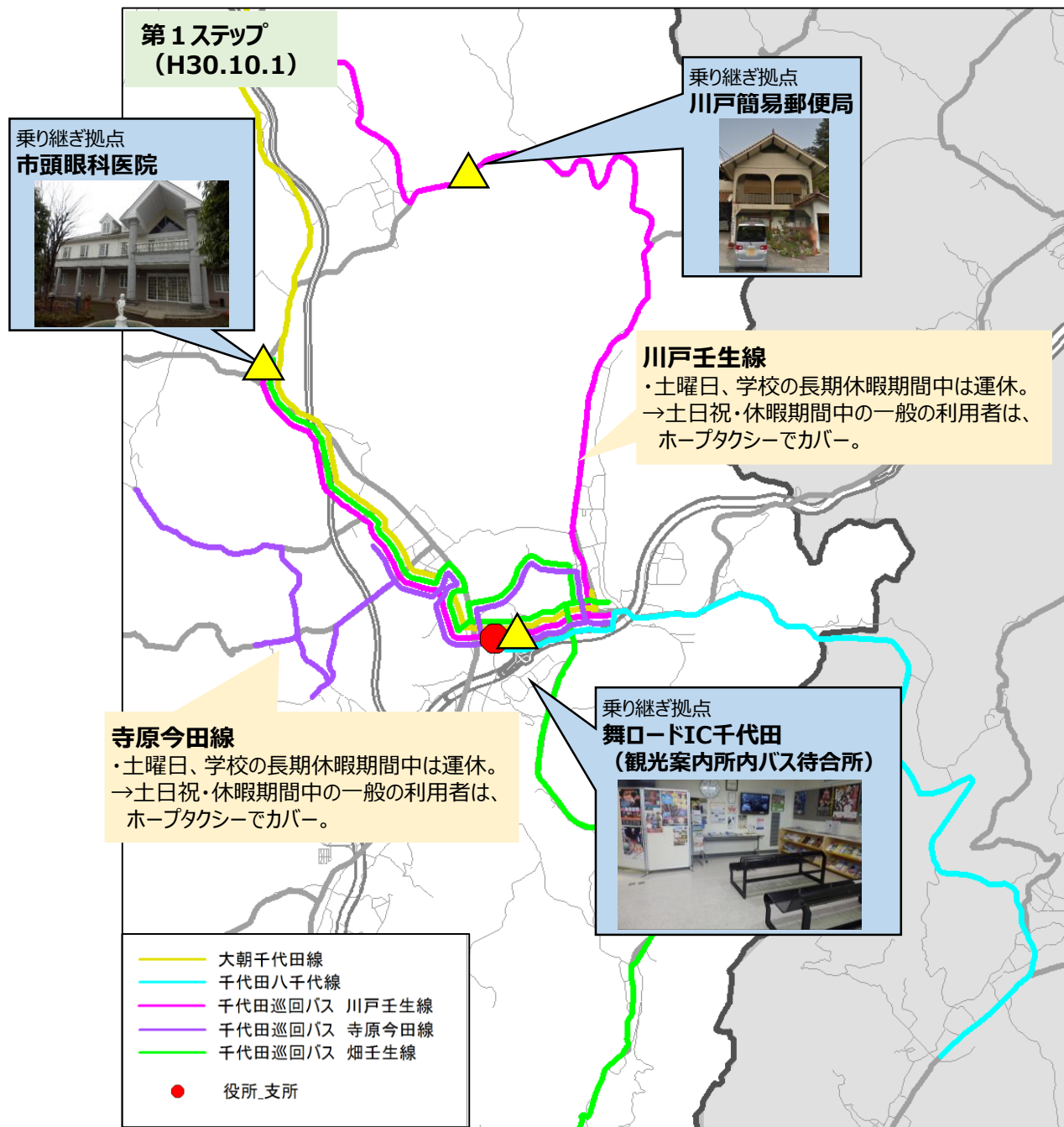
<再編スケジュール>



2.各路線の再編内容

路線名	実施年度	再編内容
千代田・八千代線	H31	・ 町営バスから4条の路線バスへ転換を検討。 ・ 4往復から2往復に減便し、朝夕各1往復は、千代田高校への通学便として維持し、デマンド化を検討。
千代田巡回バス 川戸壬生線	H30	・ 土曜日、学校の長期休暇期間は運休
千代田巡回バス 寺原今田線	H30	・ 土曜日・学校の長期休暇期間は運休
千代田巡回バス 畑壬生線	H31	・ 安芸高田市と協議の上、デマンド化を検討。
ホープタクシー	H31	・ 千代田八千代線の車両をホープタクシーとして活用（車両数を3両から4両に増加）。

3.再編後の路線



4.乗り継ぎ拠点

環境改善1 ホープタクシー同士の乗継のための待合環境の確保

- 市頭眼科医院をホープタクシー千代田北部エリア⇔豊平北部エリアの乗継拠点とし、待合環境を確保する。
- 川戸簡易郵便局をホープタクシー千代田北部エリア⇔新庄エリアの乗継拠点とし、待合環境を確保する。



▲市頭眼科医院内の待合スペース



▲川戸簡易郵便局内の待合スペース

環境改善点2 バスロケーションシステムによる待ち時間の情報提供

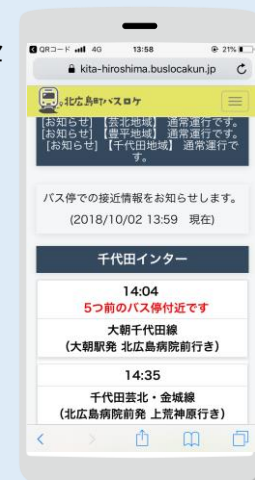
- 乗り継ぎ拠点の市頭眼科医院と舞ロードIC千代田、主要な買物先のサンクスショッピングセンターに大型画面を設置し、ホープバスの近接情報や遅延情報、地図上での位置を確認できるようにする。
- スマホ等でバス停のQRコードを読み込むか、「北広島町バスロケ」TOP画面からバス停名を検索すると上記の情報が確認できるようにする。



▲舞ロードIC千代田の大型画面の表示



▲専用サイトのQRコード



▲スマホ画面の表示